

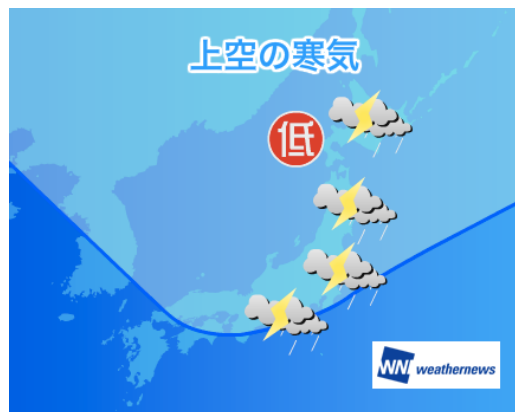
2014年9月11日

9日から11日にかけて北海道の各地で記録的大雨
北海道の各地で次々と発生した局地的豪雨について
～金曜午後までは天気急変や土砂災害に注意が必要～

上空の強い寒気と北海道の西海上に停滞している低気圧の影響で、9日未明から今日まで、北海道の各地で記録的な大雨となっています。株式会社ウェザーニューズ(所在地：千葉市美浜区、代表取締役社長：草開千仁)によると、上空 5700m 付近で -15°C 以下の寒気は、この時期にしては強く、大気の状態が不安定となり、積乱雲が発達しやすい状況となっています。また、北海道の西海上には低気圧が停滞しており、その低気圧に向かって流れ込んだ風が山の斜面で上昇させられて各地で活発な積乱雲が発生、発達し記録的な大雨となりました。このあと、雨雲の発生エリアは道東へ移動し、明日の午後まで大雨に注意が必要です。また、これまで雨が続いた地域では引き続き土砂災害にも警戒してください。

◆ 上空の寒気と低気圧によって9日から11日にかけて十勝、白老、石狩で局地的豪雨発生

現在、日本の上空 5700m 付近には、 -15°C 以下のこの時期にしては強い寒気が流れ込んでおり、地上との気温差が大きく大気不安定な状態となっています。また、北海道の西海上には動きの遅い低気圧があり、その低気圧に向かって湿った空気が流れ込み、各地で積乱雲が発生、発達し、激しい雷雨となりました。北海道の西海上の低気圧の動きは遅いものの、少しずつ移動していたことから、流れ込む地上風の風向きと積乱雲の発生する場所が変化し、9日未明から11日朝までに十勝、白老、石狩の3つの地域で次々に局地的豪雨が発生しました。



① 9日未明-9日午前中：十勝周辺で豪雨

北海道の西海上の低気圧に向けて、水蒸気を含んだ地上付近の東寄りの風が流れ込み、日高山脈にぶつかって積乱雲が発生、発達。十勝周辺で豪雨発生。(図1)

② 9日夜-10日午前中：白老周辺で豪雨

低気圧が北海道に若干近づいたため、地上の風が東から南東に変化。ホロホロ山やオロフレ山に風がぶつかり、積乱雲が発生、発達。白老周辺で豪雨発生。(図2)

③ 10日夜-11日朝：石狩周辺で豪雨

再び白老周辺で積乱雲発生。上空の南西風によって雨雲が北東に広がり、石狩周辺で豪雨発生。(図3)

◆ 今後の雨雲の動き

現在、雨雲の発生エリアは東に移動しており(図4)、明日の午後までは道東を中心に天気急変に注意が必要です。また、これまでに雨が降った地域では引き続き河川の氾濫や土砂災害にも警戒してください。

図 1 : 十勝周辺の豪雨発生の様子

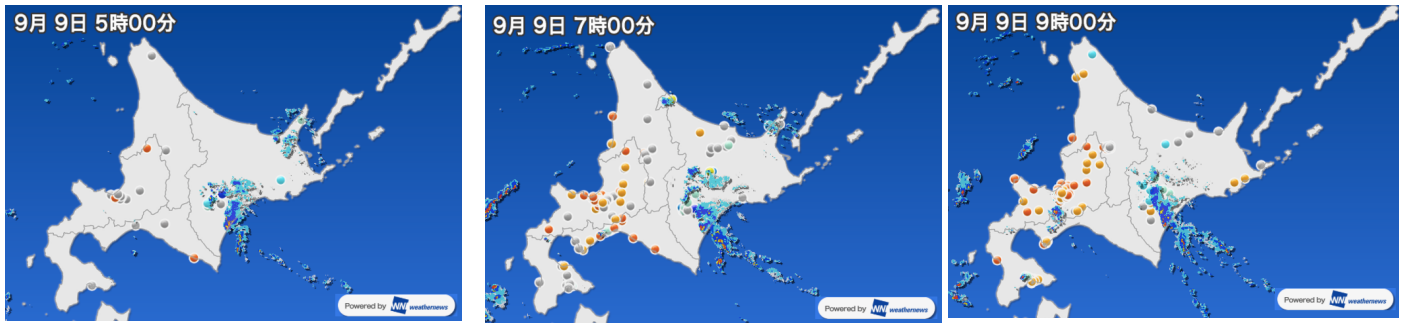


図 2 : 白老周辺で豪雨発生の様子

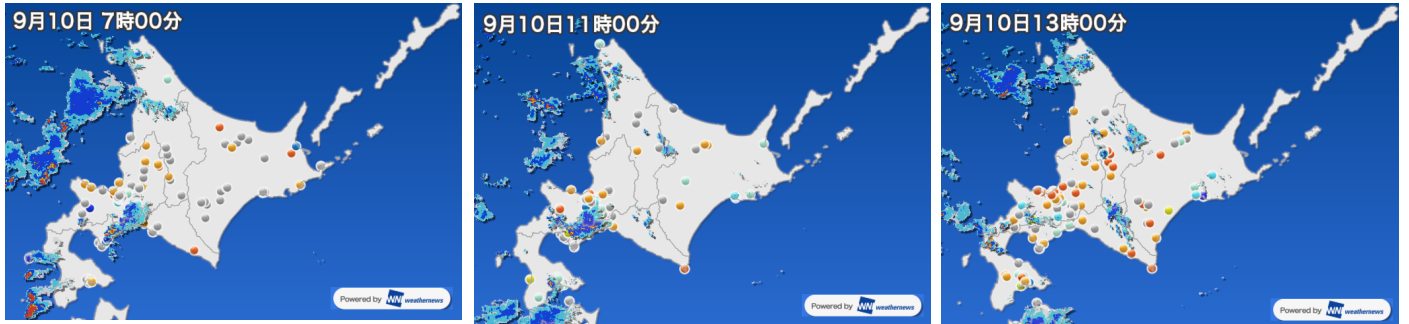


図 3 : 白老周辺で雨雲が発生し石狩方面に流れ込む様子

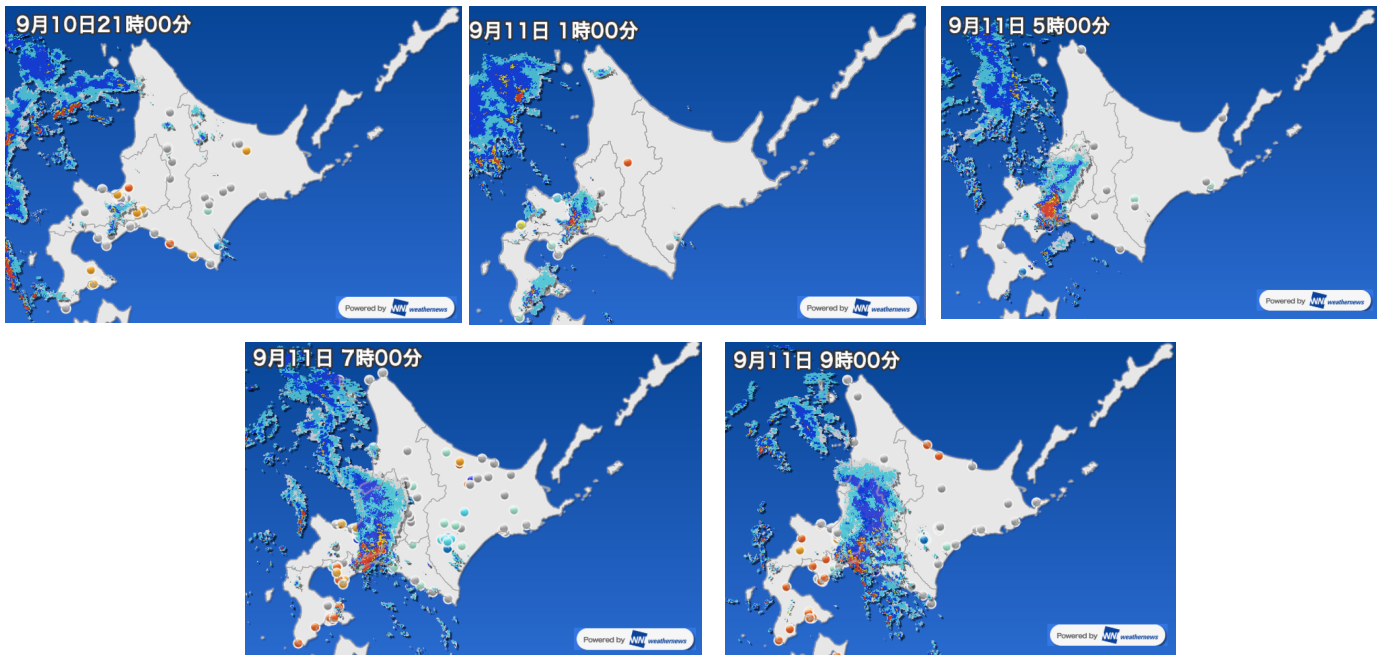


図 4 : 雨雲が東に進む様子

